

令和7年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	村岡公民館改築事業費	所管課 (旧所管課)	村岡市民センター (村岡公民館)
まちづくりテーマ			
2健康で豊かな長寿社会をつくる			

2 施策概要・指標

事業目的及び必要性
老朽化とバリアフリー環境の改善を図るため、藤沢市公共施設再整備基本方針に基づき複合施設として移転し、再整備を行う。令和6年度は、令和4年度に完了した実施設計に基づき、令和5年度に着手した工事を継続し、令和7年度中の完成に向け公民館及び消防団第6分団器具置場の建設工事を行った。
2030年又は事業終了時の望ましい姿
生涯学習や住民自治活動の拠点及び災害拠点本部機能の拡充により地域住民の福祉向上に資する。
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」
① 公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継いでいると感じますか？
②

3 指標の推移

		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
意識調査結果	①	点	2.77	2.71	2.79
	②				
市民意識調査以外の市民ニーズの把握方法及びその内容					
建設検討委員会及び地域住民、地区諸団体等からの聞き取り等を基に実施設計に反映させた。また今後の利用についても、地域住民や地区諸団体等の意見等を踏まえ公民館の運営を行う。					
EBPMなど政策の立案や効果測定に必要なデータ等					
社会情勢等					
超長寿社会を迎え、人々が活力をもって生きていくために、学びたいことを学ぶことができる社会を構築し、ライフステージやライフスタイルに応じた多様な学習の機会を提供することが求められており、地域住民からは整備された公民館での活動が待たれている。					
他市等の事例(本市の独自性があればその内容)					
把握した市民ニーズ、議会からの意見等への対応					
建設検討委員会や地域住民、諸団体からの聞き取りを基に、諸室配置や外観の配色、浸水対策等を実施計画に反映させ、再整備を実施した。					

4 施策の評価

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由			
まちづくりコンセプト	☒ サステナブル藤沢	☒ インクルーシブ藤沢	☐ スマート藤沢
藤沢市公共施設整備基本方針の考え方にに基づき、公共施設の複合化を図り、効率的な行政運営を行う。			
貢献する主なSDGsのゴール			
①	質の高い教育をみんなに		
②	住み続けられるまちづくりを		
③	パートナーシップで目標を達成しよう		
関連する計画の有無(ある場合は計画の名称)			
有無	有		
藤沢市公共施設再整備プラン			

令和7年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	アートスペース運営管理費	所管課 (旧所管課)	文化芸術課
まちづくりテーマ			
5未来を見据えてみんなではじめる			

2 施策概要・指標

事業目的及び必要性
美術を中心とした芸術文化の創造・発信の拠点として、若手芸術家等の活動を支援するとともに、市民等に身近な美術鑑賞の場を提供することにより、市民文化の向上に寄与することを目的とする。市民の心豊かな生活を支えるために必要な施設である。
2030年又は事業終了時の望ましい姿
アートスペースの開館から10年以上経過し、支援した若手芸術家たちが日本を代表する作家となり国内外で活躍し、またアートスペースで行っている公募展に入選することが若手芸術家のステータスとして浸透している。生活・文化拠点に移転した利点を活かしつつ、アートスペースにゆかりのある芸術家と、市内の施設や学校などと協働した事業が展開され、文化芸術に気軽にふれる機会や、体験の機会が増えることによって、新たな文化芸術を担う人材が増えている。
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」
① 市内に文化的な魅力があると感じますか？
②

3 指標の推移

	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
意識調査結果	①	点	2.97	3.04
	②			

市民意識調査以外の市民ニーズの把握方法及びその内容
展覧会ごとに紙及びウェブでのアンケート実施を行っている。アンケートには、開催中の展覧会と同様の事業継続や、若手アーティスト、湘南ゆかりのアーティストの紹介や交流を望む声が多い。
EBPMなど政策の立案や効果測定に必要なデータ等
社会情勢等
新型コロナウイルス感染症による影響が少なくなる中、アートスペースにおいても、コロナ禍以前の形式で企画展やワークショップを実施するなど、アーティストへの活動支援や市民への文化芸術体験の提供が求められている。また、SDGsの視点を踏まえた事業展開を検討していく必要がある。
他市等の事例(本市の独自性があればその内容)
3歳以下を対象とした事業が美術施設に少ない中、平塚市美術館では専門家と協働して低年齢から様々な素材に触れられる機会を提供しており、1,2歳児を対象とした事業を定期的に実施し、美術館に親しみを持ってもらう工夫がある。本市の独自性としては、レジデンスルームでの滞在制作など、普段目にすることが少ない制作過程を公開するだけでなく、市内に点在するパブリックアートを紹介する事業や、市内の学校に向き作品の共同制作などを通じアーティストと生徒の交流を促す事業を実施している。
把握した市民ニーズ、議会からの意見等への対応
施設や事業周知のため出張講座等のアウトリーチを行うとともに、藤沢や湘南ゆかりのアーティストを紹介する企画展や、ワークショップ等の実施によりアーティストと市民の交流の場を設けていく。

4 施策の評価

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由		
まちづくりコンセプト	☒ サステナブル藤沢	☒ インクルーシブ藤沢 ☐ スマート藤沢
市所蔵の美術品や本市にゆかりのある作家の企画展の開催や地域へのアウトリーチ事業を通じ、多くの人に美術作品とふれ合う機会を提供することは、本市の文化資源の再認識を促すとともに郷土愛を育むことにつながる。また、湘南ゆかりの若手芸術家に対する制作・展示支援など、将来を見据えた事業展開を行う。		
貢献する主なSDGsのゴール		
①	質の高い教育をみんなに	
②	パートナーシップで目標を達成しよう	
③		
関連する計画の有無(ある場合は計画の名称)		
有無	有	
藤沢市文化芸術振興計画2028、第4期藤沢市教育振興基本計画、生涯学習ふじさわプラン2026		

令和7年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	スポーツ都市宣言推進事業費	所管課 (旧所管課)	スポーツ推進課
まちづくりテーマ			
5未来を見据えてみんなではじめる			

2 施策概要・指標

事業目的及び必要性
「藤沢市スポーツ都市宣言」の理念である、生涯にわたって健康で豊かなスポーツライフを実現するため、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツに触れることができるイベントや講座等を実施する。
2030年又は事業終了時の望ましい姿
スポーツ都市宣言や健康寿命日本一の具現化・子どもから高齢者、障がいのある方まで、誰もが生涯にわたって多様なスポーツに親しめる環境が充実しているまち。
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」
① スポーツ活動が充実していると感じますか？
②

3 指標の推移

	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
意識調査結果	①	点	3.01	3.08
	②			3.04
市民意識調査以外の市民ニーズの把握方法及びその内容				
スポーツ推進審議会				
EBPMなど政策の立案や効果測定に必要なデータ等				
社会情勢等				
新型コロナウイルス感染症による制限がなくなり、日常のスポーツ機会の確保など市民のスポーツ活動に対する需要は高まっている。				
他市等の事例(本市の独自性があればその内容)				
県内では、逗子市が昭和59年にスポーツ都市宣言を制定している。近県では、東村山市(東京都)(S49)、武蔵村山市(東京都)(H26)、上尾市(埼玉県)(S51)、羽生市(埼玉県)(S62)、桶川市(埼玉県)(H3)、小山市(栃木県)(H26)、伊勢崎市(群馬県)(H18)が、制定済。				
把握した市民ニーズ、議会からの意見等への対応				
スポーツ都市宣言後、市民のスポーツ活動の高まりに応えるため、身近な場所で、気軽に誰もがスポーツに親しむことができる事業等を実施する。				

4 施策の評価

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由		
まちづくりコンセプト	☐ サステナブル藤沢	☒ インクルーシブ藤沢
	☐ スマート藤沢	
スポーツ都市宣言には、競技スポーツや障がい者スポーツの視点、様々な年代の人々を対象とする多様性の視点などが込められており、それらの視点に基づいて事業を展開していく。		
貢献する主なSDGsのゴール		
①	すべての人に健康と福祉を	
②	パートナーシップで目標を達成しよう	
③		
関連する計画の有無(ある場合は計画の名称)		
有無	有	
藤沢市スポーツ推進計画2029		